

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年9月19日
事業者名:	株式会社トオヤマ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	プラスチックハンガーを各取引先から回収し再利用している。また、廃棄となったプラスチックハンガーを回収し、PP、ABSと材料ごとに分解し、中島化学（材料購入先）へ届け、廃プラスチックを他エネルギーや、他製品（花き業界向け 苗運搬用トレー、自動車組立工場向け 自動車パーツ運搬用トレー）に変換することで、廃棄となるプラスチックを減らす取り組みを行っている。廃棄となるプラスチックハンガーを取引先から回収することで、取引先の廃棄負担を減らす役割も果たしている。今後は廃棄となるプラスチックハンガーの材料別に人員をあてられるように人材・運営基盤を強化する。	⑫つくる責任、つかう責任、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	プラスチックハンガーの再利用を日常的に実施。プラスチックの材料として再生原料を使用。プラスチックハンガーの材料分別を業務として実施。 廃プラスチック材料納入2回/年実施。	指標	廃プラスチック材料納入回数
				目標	2030年までに4回/年実施(2024年度比2倍)
社会	地元企業として、廃棄となる食材を用いた子ども食堂への参加、フードドライブの参加、活字復興の取り組みとして絵本展の参加をし、地元復興、食品ロスへ貢献している。能登半島地震被災者救援募金活動の実施。	③すべての人に健康と福祉を、⑪住み続けられるまちづくりを、⑩人や国の不平等をなくそう	地元企業の活動に6回参加	指標	地元企業参加活動の実施回数
				目標	2025年までに12回/年参加する。(2024年度比2倍)
経済	継続的な雇用、女性の社会進出、高齢者の採用を行っている。正社員の継続年数が長く、働きやすい環境作りを心掛けている。正社員は女性社員が多く、女性の社会進出へ積極的に活動している。育休・産休の積極的な取得、育児や家事、通院時の業務調整を実施。また、内職作業（プラスチックハンガーヘウレタンカバーを被せる、サイズチップを付ける）を地域の高齢者にお願ひし、高齢者のサポート強化や、地元の復興の意味合いも兼ねている。目標を常に全体で共有し、働きがいをもって持続的な仕事ができるように心掛けている。	⑪住み続けられるまちづくりを、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	女性社員数4名(男性2名)、高齢者内職者数3名	指標	高齢者内職者数、女性雇用者数
				目標	2025年までに高齢者内職者数を2倍にする(6名)。事業基盤を作り、2030年までに女性雇用者数を2倍にする(8名)。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>  重点項目3項目を掲げ社内でも共有。SDGs取り組み担当者を設定。2025年、2030年と中長期目標を策定し、持続的に行えるように具体的な行動計画とし、日常的に実行、成長基盤の確立。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				